

製品名: ARHGEF9 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07130**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:20000-1:40000

分子量

抗原情報

遺伝子名	ARHGEF9
別名	ARHGEF9; ARHDH9; KIAA0424; Rho guanine nucleotide exchange factor 9; Collybistin; PEM-2 homolog; Rac/Cdc42 guanine nucleotide exchange factor 9
遺伝子 ID	23229.0
SwissProt ID	O43307
免疫原	抗血清はヒト ARHGEF9 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 399-448

背景

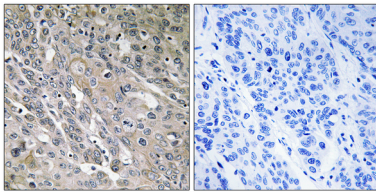
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、Rho 様 GTPase であり、活性状態（GTP 結合）と不活性状態（GDP 結合）を切り替

えて CDC42 などの遺伝子を制御します。この遺伝子の欠陥は、てんかん性驚愕症 (STHEE) (てんかん性過敏症とも呼ばれます) の原因となります。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする 3 つの転写バリエーションが見つかっています。[RefSeq 提供、2010 年 3 月]、疾患: ARHGEF9 の欠陥はてんかん性驚愕症 (STHEE) の原因となります [MIM:300607]。てんかん性過敏症とも呼ばれます。驚愕症は遺伝的に異質な神経疾患です。STHEE は、特に新生児期における中枢神経系由来の筋硬直と、予期せぬ聴覚刺激または触覚刺激に対する過剰な驚愕反応を特徴とする。機能: CDC42 のグアニンヌクレオチド交換因子 (GEF) として作用する。GPHN クラスターの形成を促進する。類似性: DH (DBL 相同) ドメインを 1 つ含む。類似性: PH ドメインを 1 つ含む。類似性: SH3 ドメインを 1 つ含む。サブユニット: GPHN と相互作用する。組織特異性: 脳で検出される。心臓でも低レベルで検出される。

研究分野

アクチンダイナミクスの制御; AMPK

画像データ



ARHGEF9 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。